

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
111	111	国際交流推進事業	01	01	一般会計
基本施策	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			06	06	文化振興費
担当部課名		大山田支所 総務振興課	102	102	国際交流推進事業
作成者氏名	池口 法行	連絡先	47-1150	01	国際交流推進事業
			細々目		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市民及び伊賀市に在住する外国人 諸外国との交流	外国人との交流を通じて、異なる文化についての関心や理解を深め、多文化共生社会を担う市民が増える。
本年度事業内容	大山田国際交流友の会への助成(補助金) 300,000円 日米草の根交流サミット(本庁事業86,519円) 友好の森の清掃管理(市有財産152,159円) ふるさと夏まつりでの国際交流啓発 収穫まつりでの国際交流啓発 中国総領事館との交流事業 大山田展覧会での国際交流啓発(92,665円)	
	昭和 62 年度	終了年度 平成 年度
	根拠法令・要綱等 旧村と広東省において「意向書」の取り交わしがある	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	300	270	243
委託料			
補助金	300	270	243
その他			
合計(A+B)	1,020	990	963
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,020	990	963
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
大山田国際交流友の会への助成	千円	300	270	243			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
大山田国際交流友の会の自立	事業のなかで、友好の森(市有財産)の管理は委託料の性質を持っている。また、「日米草の根サミット」は本庁事業である。この2件で補助金の大半を消化している。友の会の事業は会費とバザー売り上げで行っている。友の会の自立度は高い。	活動助成	300	270	243
		()	目標		
			目標		
			()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

大山田村では国際交流友の会を通じ国際交流を進めてきた(以下概要)。
 中国広東省との交流活動の推進
 広東省訪日団、林業研修生、広東省雑技団等の受け入れ。
 大山田青年訪中団、村議会友好訪中団(議長)、村民訪中友好団(村長)等の訪中。
 「日中友好の森」「中日友好の森」の整備及び管理。
 意向書の交換。

評価	必要性	4	国際交流友の会は、中国、カナダ、韓国、北朝鮮、ハンガリー等との国際交流を行っている。友の会は、主体性のある(資金面・ボランティア)活動をしている。(勧誘して会員を増やす等の行為は行っていない。)	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		